

私は、毎朝新聞を読む時、見出しそを見つ、気にならぬ記事だけを読みようとしています。そのくらい、見出しそは、私にとっては大切で、便利だからと思ふものになっています。ですが、いざ、自分で見出しそをつけたりすると、なんか違うなと思われ、それで、普段見出しそをつけている方が、本当にすごいなと思いました。

また、新聞は裏をとらなければいけない、そこがネット記事との一番の違いだというところが印象的でした。確かに、私も、なんとかく、ではありますか、ネット記事より新聞を読んでいたって、新聞の信頼性は、そういう事からきてるんだなと、とても納得してからです。これからは、新聞を作られている方々の努力を忘れず、今まで通りていねいに、新聞を読みべきだと感じました。

〆切 1月 21 日 (金) 朝学活

新聞を作る時に、少しごく分かりやすく記事を書けると知りました。
情報を書くことよりも、権力者が暴走しないように監視することが最大の役目と知り、
新聞の大切さをより感じました。

貴重な時間を頂き、ありがとうございました。

電話の記事でも、同僚の子と話したり、先輩の意見を聞いたりして「あー こんな見出しがいいな」と考えることができました。これから NIE の授業では、見出しそ注目し、もっと新聞に親しんでいこうと思います。

実習に記者の人から話を聞けるのはとても良い体験でした。

新聞記事の作り方について教えていただきありがとうございました。新聞記者の人たちが毎日苦労して新聞を作っていることを矢口ることができました。例えば、自己事を書く前に書く内容について事実確認をしていたり、政府や大手会社なども権力を監視しているなど、普段の生活では矢口のできない自己者の人たちの努力で世の中のことが矢口なり、権力をもつ人たちが「暴れたりしないように」としていることは普通の人ではできないと思いました。なぜなら、権力をもつ人が「けりなり暴れただしても止める勇気がないからです」しかし記者の人たちは、首本目で2020年のオリンピックパラリンピックの中止を求めることができた勇気があるからです。しかも朝日新聞社含め中止を求めた新聞社は3社だけだったので本当に勇気があると思いました。いそがしいなかで学校に来てくださいたいて、お話を聞かせてありがとうございました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師：朝日新聞社 阪神支局 西見誠一 支局長

西宮市立浜脇中学校

新聞をつくる時に、見出しを考える用の部門があるのかはどろきました。
これまで書いた人が見出しがつけていると思っていました。
見出しが考えたけど記者が「それはいやだ」と言ったり作り直すのが、記者にまかせたのが
気になった。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師：朝日新聞社 阪神支局 西見誠一 支局長

西宮市立浜脇中学校

新聞記事を作るのはとても時間がかかるものではないと思っていました。
特に豊かな所は見出しがことです。
見出しが、その担当の人がいて、その人が考えたのは生で良い案だなーと思いました。
「ひととこ」で僕がつけた見出しが「悪いがつながる系でんわ」です。
でも、やっぱり、担当の人の「二人大けの系でんわ」の方が僕はいいと思いました。

僕の将来の夢ではありますけれども良くおもしろくな仕事だと思ったので、頭の中の引き出しの中に入れた後に保管しておきたいと思います。
僕は朝日新聞を作っている所に行きましたが、内容ではくわしく知らなかったので、
とても良い経験になりました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師：朝日新聞社 阪神支局 西見誠一 支局長

西宮市立浜脇中学校

新聞記者のことをwatch dogと表現するといふことは今回初めて知りました。これからも経済を観察していく上で、貴重な言葉をありがとうございました。

見たしをつけようのプリントで自分はすぐにつかれていなかつたけれど、朝日新聞社の方々は、すぐに考えれて、毎日大変な仕事をしているんだなとすごく思います。朝日新聞社の方々みたいに見たしは、考えれなかつたんですか？自分は、相手とつながる系電話という見たしを考えました。理由は、系電話は、系で、自分と相手がつながっている。気持ちも同じで、気持ちがべつないでいる事だと、思ったので、見出しは、相手とつながる系電話にしました。

話を聞いて、見出しおける事は、大変だけど、楽しかったです。少し、新聞について、知りたかったなと思いました。

朝日新聞社の方々の、分かりやすさの説明がすごく良かったなと思います。

今回は、ありがとうございました。

*このまま 兵庫NIEホームページに載るかもしれません。字を丁寧に書いてください。

*名前は載りません。

今まであまり新聞は読んでことがなかつたけれど、今回の話の内容を聞き少し新聞に興味を持つことができました。

記者のもっと大切にしている目標「権力監視」というものが記者にとってどれだけ大切なかがよく分かりました。

山本ひづる

202

今回は、お忙しい中来ていただき、ありがとうございました。

新聞記者には、たくさんの方々がいて、1人でもいなければ、最高の新聞はつくれないことがわかりました。普段、私が見ているのは、新聞配達員くらいなので、うらで"活躍している人を知れてよかったです。

正直、新聞って大変だなーと思ったのですが、西見さんのお話を聞いて、

新聞の入切いや一日の新聞を作るのにかかる手間や時間などたくさんのがありました。新聞にふれる機会は少なくてすみ、西見さんから教わったことを踏まえてNIEの時間を今までよりも大切にしていきたいと思いました。

新聞はめたりに単純に作ることが出来ないけどそれを作れることはすごいことだと感じました。

記者の人たちは私が想像してたより大変そうで気がするに読んでいた新聞をもとしきり読んでみようと思いました。

普段、新聞社で働いている方たちは、どのような思いでどんな風に「新聞をつくる」ということを向向き合っているか、とてもよく分かり勉強になりました。

記事一つ一つに思いを込み、最後まで丁寧に丁寧に上げていくことは、とても大変なことだと思ひます。でもそれを審査に思わず、一言一言を考へ抜いていくと、思ふと素晴らしいなと思ひました。私も実際見出しを考えられて、「難しい...」と感じました。そして、その後に実際の見出しを開き、すぐ納得しました。

それと同時に、人に響くものがあります。私たちはこれから、どんな形でどうもこうして「人の心に残るもの」をつくり、届けられるようになりたいと思ひます。

*このまま 兵庫NIEホームページに載るかもしれません。字を丁寧に書いてください。

*名前は載りません。

僕は西見さんの話を聞くまで新聞の事を知りませんでした。ですが西見さんのおかげでいろんな事を知れて新聞社の人達がどれだけ真面目に仕事をしているのかを知りました。
これからも西見さん達に仕事を頑張ってほしいと思いました。

- NIE講座を受けて新聞が社会においてどのような役割を持つていて、その役目を果たすために、どのようなことを行っているのか、ということを知れて、とても大切な仕事であると感じました。特に各新聞社が相互監視の様な状態であるということを知ったときは、かなり驚きました。そして、それだけ責任がある仕事を社会において重要なことであるということがわかりました。
- 講義の中に、「もし新聞がなくなるとどうなるのか」という話があり、実際に新聞記者がいなくなると公金横領のようなことがあきた例があるという話を聞いていました。正直僕は社会にここまで影響があると考えていませんでした。しかし、実際に新聞がなくなると社会に重大な影響が出るということを知り、社会における重要なものであると感じました。
- これからも社会の権力の腐敗を防ぐ重要な役割としてがんばってください、講義ありがとうございました。

今回の会話を聴かせて頂き、新聞の大切さを改めて感じることができました。私は今まで新聞のレイアウトやタイトル、見出しから自分なり気付かず読んでいましたが、誰が見やすい、分かりやすい新聞を作るのは簡単なことではないと感じます。そして、タイトルや見出しが、自分が考えた立場になってみて、とても難しかったと感じました。

貴重なお話を聴かせて頂き、本当にありがとうございました。

改めて新聞作りの人達の想いの強さを感じ取ることができました。
これからレポート作りの時間などに今回のお話を活用していきたいと思います。

先日はお忙しい中貴重なお時間を本当にありがとうございました。
ぼくはあの新聞記事に「系でつなぐ夫婦の形」という見出しがつきました。
この見出しがつけられた理由は文章を読んでいたりの二人
が「系でつながっているな」と思って、「系でつなぐ」と「夫婦をつなげる」
「系でつなぐ夫婦の形」にしました。いかがですか?

とってもがんばりました。

新聞がなか、たら権力が強くな、給料が上がり、しまうけれど新聞は監視しそれを防いでいたと思います。

新聞は間違いかないように見直したりしてすごくと思いました。

見出しをどのように考えて決めるのかも分かってよかったです。

社説をオリンピックの中止を求めるとしたのは勇気がいると思いましたがうやうやしく思いました。

これからは見出しつけるときにはその内容をしっかり読んでもうなことを考えてつけたいです。

新聞の記事の見出しが毎回目を引く見出しじゃあでもつくれると思いましたが、想像していたよりも難しくて考えている人はすごいと改めて思いました。自分はいつも新聞を読まないのですが、今度から読んでみようと思いました。

話を聞いて大切だと分かったことは、新聞の見出しの書いている内容の思いを読んでいる人に伝えうということです。あと、知らないかったこともいっぱいあったので知れてよかったです。

今回、見出しの難しさがわかりました。普段、なにげなくみていた新聞記事の見出しが、

いざ自分で書ふとなると全然かけなく、アイデアが全然うがべませんでした。

このような事をほぼ毎日している新聞会社の人は、本当にすごいなと思いました。

私は新聞の役割は読者にその日に起こった事件や事故を伝えるだけだと思つたけど、「権力の暴走を止める」という役割もあったと知り、驚きました。また、「見出しがつけよう」をじつみたときにすごく難しくて、新聞記者という仕事だけ大変な仕事であるか実感しました。私は今まで新聞は難しそうであまり読んだことがなかたけど、読んでみようと思います。本当にありがとうございました。

僕は新聞の一番の意味は権力監視ということを聞いたことも驚きました。
今後はそのことを考えながら新聞を読んでみようと思いました。

前はお忙しい中きてくださいありがとうございました。
自分はあまり新聞を読んでなくて興味はすづかっただけだと
今回西見さんのお話を聞いて家に帰って新聞を見たら
とてもこまかく書いていて本当にすごいなあ！と思いました。
また見出しなどもみんなで楽しく出来てよかったです。
本当にありがとうございました。

皆さんは流し皂の人の新聞がでてきました。
「後はアドベンチャーバードを貸し切りできる新聞もでてきました。

私は糸でんわでつながるを考えました。
その理由は、2人の夫婦だけがつながる糸でんわだからです。
2人だけしか矢張り2人だけの糸でんわです。

いろいろお話をしていたとき、ありがとうございました。
話を聞いて新聞に前よりミラスがわきました。

〆切 1月 21 日 (金) 朝学活

一つの記事を書くのに沢山の人とかかかわっていることを知りました。
社説を書くのも、協力して知識を出し合って一つの記事をつくるのは
とても大変なんだろうと思いました。